

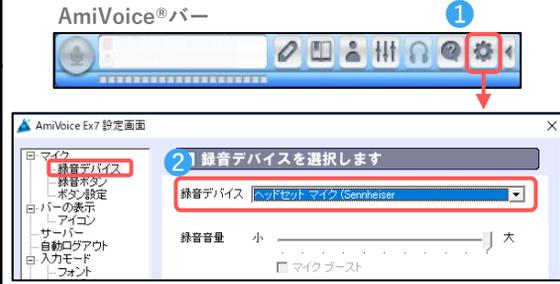
■AmiVoice® Front WT01 AmiVoice® Ex7への設定

設定を変更した際は、**設定画面下にある「適用」もしくは「OK」をクリック**し設定を反映してください。

1 録音デバイス ～「ヘッドセットマイク (Sennheiser BTD800)」を選択～

1 AmiVoice®バー (歯車) > 設定 > マイク > 録音デバイス

2 「録音デバイス」のプルダウンより「ヘッドセットマイク (Sennheiser BTD800)」または「ヘッドセットマイク (EPOS BTD800)」を選択します。
※表示される文字数に制限があるため表記が途中で切れている、「(2-EPOS)」などのように数字が付く場合があります。



2 録音ボタン ～「AmiVoice Front WT01」にチェック～

WT01のマルチファンクションボタンで録音開始・終了や転送をする場合にチェックが必要です。
※WT01のマルチファンクションボタンを利用しない場合は設定不要です。
※録音開始・終了動作は、AmiVoice® Ex7の設定の「マイク」>「録音ボタン」>「ボタン動作」の設定に関係なく、常に「押す毎にON/OFFの切り替え」として動作します。
「押している間ON/離すOFF」として動作させたい場合は、キーボードやマウスなどで録音開始・終了を行ってください。

1 AmiVoice®バー (歯車) > 設定 > マイク > 録音ボタン

2 「マイクの録音ボタン」の「AmiVoice Front WT01」にチェック。



3 録音拡張設定 ～タイムラグ解消のための設定～

本マイクは、録音状態に移行してから実際に発話可能となるまでに、若干のタイムラグが発生します。そのため、録音ボタンを押してすぐに話し始めると、音声の冒頭部分が録音されない場合があります。話し始めが入りづらいという場合は、下記いずれかを実施してください。

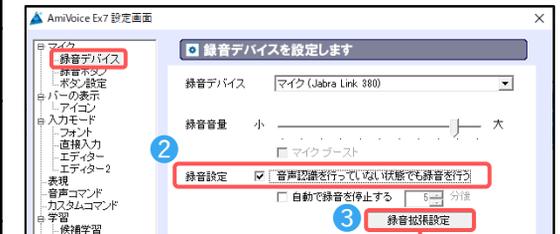
- 1) 録音ボタンを押してすぐに発話を開始するのではなく、一拍おいてから発話するようにする
- 2) 下記の「◆設定」を実施する

※本設定は裏側で常に録音を行うようになり、音声認識を行う際の録音開始処理のタイムラグを軽減を実現します。一方で、本設定を有効にするとAmiVoice® Front WT01の電池消費も早まりますのでご注意ください。

◆設定 ※AmiVoice® Ex7 ver7.60～

1 AmiVoice®バー (歯車) > 設定 > マイク > 録音デバイス

2 「録音設定」の「音声認識を行っていない状態でも録音を行う」にチェック。



◆最初の部分が欠ける場合の調整方法 ※AmiVoice® Ex7 ver7.60～

1 AmiVoice®バー (歯車) > 設定 > マイク > 録音デバイス

2 「録音設定」の「音声認識を行っていない状態でも録音を行う」にチェック。

3 「録音拡張設定」をクリック
「録音ボタンを押す前後も音声認識に含める」のゲージを0.1秒から徐々に調整していきます。
※「音声認識を行っていない...」のチェックがないと「録音拡張設定」はクリックできません。

4 「録音拡張設定」画面下の「OK」をクリック。

